



# 大雨に係る鳥取県情報連絡会議

**【日 時】令和4年8月16日(火) 午後2時30分～**

**【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）**

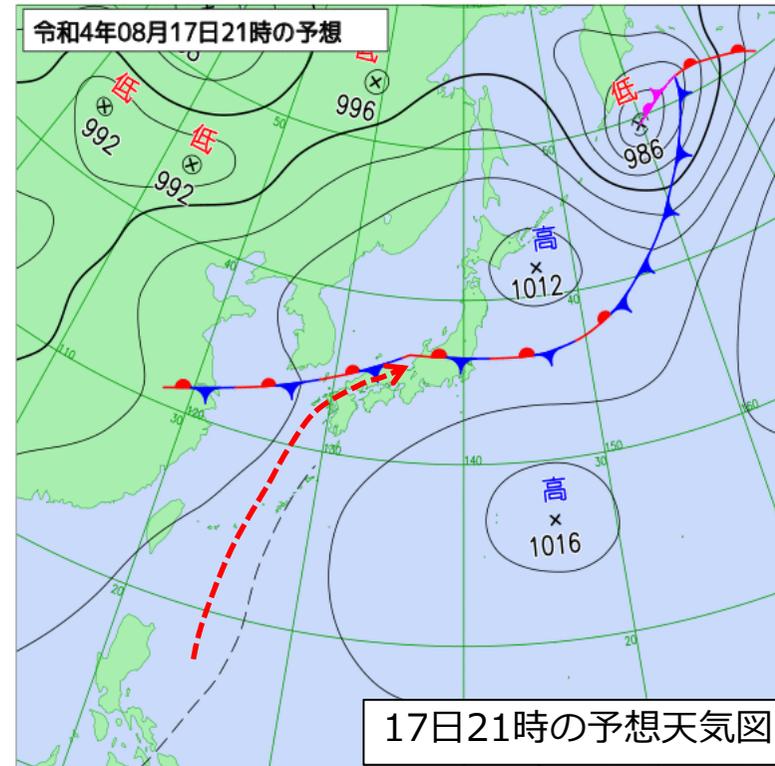
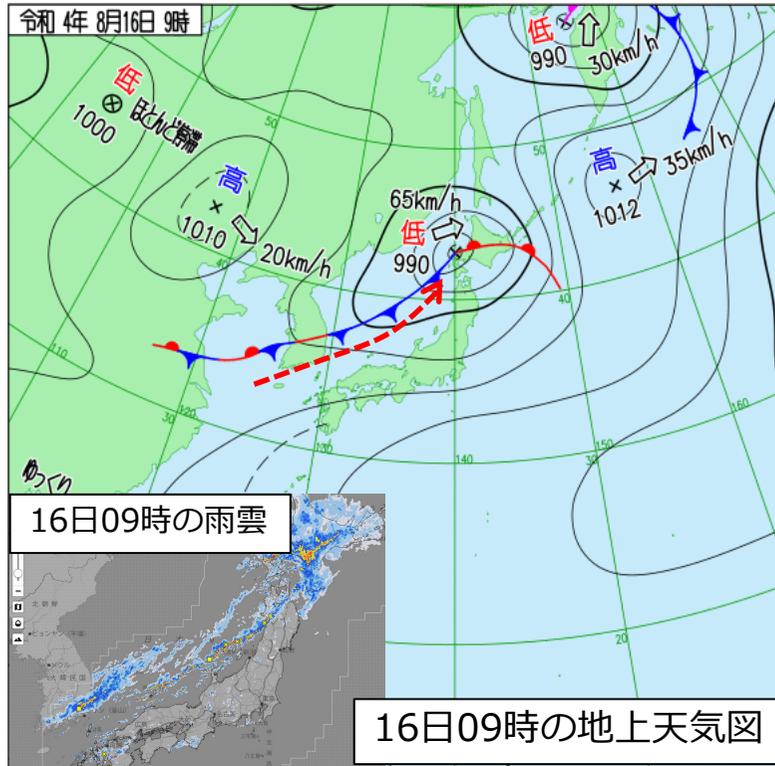
**【参加者】知事、副知事、統轄監、関係部局  
鳥取地方気象台**

\* 各総合事務所、市町村、消防局等には映像配信

## **【次 第】**

- 1 最新の気象状況、今後の予測等（鳥取地方気象台資料）**
- 2 市町村・県民への注意喚起等**
  - (1) 市町村への依頼事項
  - (2) 県民への注意喚起等
- 3 警戒・即応体制の確保等**
  - (1) 県の体制
  - (2) 各部局の対応

# 概況



-----> 主な暖かく湿った空気の流れ

- ・前線が日本海を南下し、17日から18日にかけて、西日本付近に停滞する見込み。前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、大気の状態が不安定となる。
- ・18日にかけて、局地的に雨雲が発達し、激しい雨が降る見込み。特に、総降水量が多くなり、土砂災害に留意が必要。

# 防災時系列

8月16日12時 現在 警報級の可能性 [中] の期間：17日未明から18日

		16日					17日					18日							
		9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	
		昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く					
警報級の可能性 大雨 東部							中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	
警報級の可能性 大雨 中・西部							中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	
大雨(浸水) (ミリ)	東部	0	10	15	25	30	30	30	30	30	15	15	25	25					
	中・西部	0	10	15	25	30	30	30	30	30	15	15	25	25					
大雨(土砂)	東部																		
	中・西部																		
洪水	東部																		
	中・西部																		
風 (メートル)	東部	陸上	7 ↻	8 ↻	7 ↻	5 ↻	5 ↻	5 ↑	5 ↻	5 ↻	6 ↻	6 ↓	5 ↓	4 ↓	4 ↻				
		海上	13 ↻	13 ⇨	12 ⇨	12 ⇨	10 ⇨	10 ⇨	10 ⇨	8 ⇨	8 ⇨	7 ⇨	6 ⇨	5 ⇨	5 ↻				
	中・西部	陸上	8 ↻	8 ↻	7 ↻	6 ↻	6 ↻	6 ↑	7 ↑	7 ↑	7 ↑	6 ↓	5 ↓	4 ↓	4 ↑				
		海上	13 ↻	13 ⇨	12 ⇨	12 ⇨	10 ⇨	10 ⇨	10 ⇨	8 ⇨	8 ⇨	7 ⇨	6 ⇨	5 ⇨	5 ↻				
波浪 (メートル)	鳥取県	3	3	3	3	2.5	2	2	1.5	1.5	1	1	1	1					
雷	鳥取県		注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注			
高潮 (メートル)	東部	0.7	0.9	0.9	0.9	0.7	0.7	0.8	0.7	0.6	0.6								
	中・西部	0.8	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6								

警報級 注意報級 降水のピーク及び警報発表の可能性

1時間降水量 (多い所)  
16日~17日  
東部 中・西部 30ミリ

24時間降水量 (多い所)  
16日12時~17日12時  
東部 中・西部 100ミリ

次の24時間降水量 (多い所)  
17日12時~18日12時  
東部 中・西部 100~150ミリ

特に、総降水量が多くなり、土砂災害に留意が必要。17日から18日にかけて、警報発表(土砂災害警戒情報)の可能性あり。

16日、波浪、高潮注意報発表中。

- 前線が日本海を南下し、17日から18日にかけて、西日本付近に停滞する見込み。前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、大気の状態が不安定となる。
- 18日にかけて、前線の活動が活発となり、局地的に雨雲が発達し、激しい雨が降る見込み。降水のピークは、前線が近づく明日明け方から昼前、前線通過の明日夜から明後日明け方を想定。
- 総降水量が多くなり、特に土砂災害に留意が必要。雨の降りかたによっては、18日にかけて警報発表の可能性あり。

## <防災事項>

- 土砂災害、浸水害、河川の増水、高波、落雷、突風、高潮。

# 早期注意情報（参考）

鳥取県の早期注意情報（警報級の可能性）										
2022年08月16日11時 鳥取地方気象台 発表										
東部では、17日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。										
中・西部では、17日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。										
鳥取県東部		16日		17日			18日	19日	20日	21日
		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雨	警報級の可能性	-	[中]	[中]	[中]	[中]	-	-	-	
	1時間最大	15以下	30	30	30	25				
	3時間最大	25以下	45	45	45	35				
	24時間最大			100から150						
暴風(雪)	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	
	最大風速	陸上	9以下	9以下	9以下	9以下	9以下			
		海上	13	12	10	9以下	9以下			
波浪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	
	波高	3	3	2	1.5	1				
鳥取県中・西部		16日		17日			18日	19日	20日	21日
		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雨	警報級の可能性	-	[中]	[中]	[中]	[中]	-	-	-	
	1時間最大	15以下	30	30	30	25				
	3時間最大	25以下	45	45	45	35				
	24時間最大			100から150						
暴風(雪)	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	
	最大風速	陸上	9以下	9以下	9以下	9以下	9以下			
		海上	13	12	10	9以下	9以下			
波浪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	
	波高	3	3	2	1.5	1				

■ [高]
 ■ [中]

## 2 市町村・県民への注意喚起等 (1) 市町村への依頼事項(その1)

### ■ 市町村における対応の徹底

誰ひとり逃げ遅れることなく安全に避難する意識を住民一人ひとりが持つよう、以下の点などを改めて住民に周知してください。

- 早め早めに安全な場所に避難すること（自主避難含む）
- **「警戒レベル4」**で、**危険な場所から避難**すること
- 防災・気象情報をこまめにチェックすること など

#### 1 避難情報の発信と周知

- 早期の発出
- 様々な手段を用いて、確実に住民へ伝達
- 夜間の状況を予測して、早め早めに発出を判断

※状況が急変した場合には、夜間でも避難情報の発出は必要

# (1) 市町村への依頼事項(その2)

## 2 事前の準備

### ① 浸水リスクが高い地域の対策

過去に浸水被害があった地域など、対策の再確認をお願いします。

- ・詰まりやすい用水路の点検や清掃
- ・水位計や監視カメラがない中小河川の状況を収集する体制、連絡系統の確認
- ・必要に応じて排水ポンプ車の要請 など

### ② 避難情報の判断にあたっての情報収集

必要に応じて県関係課へ助言を求めてください。

常時オンライン情報共有を行うときは接続をお願いします。

### ③ 初動体制の速やかな確立

気象情報の収集伝達、職員参集体制の確認等

### ④ 迅速な避難体制の確立

避難指示等の発令基準や消防団等への連絡手段の確認、ハザードマップの活用、避難所の早期開設 等

### ⑤ 避難行動要支援者等の支援対策の強化

該当施設等への情報伝達体制、避難誘導上の配慮等の確認等

## 3 被害規模の早期把握と迅速な報告

## 4 避難所における熱中症予防対策の実施

大型扇風機・空調装置（エアコン）の設置、こまめな水分補給の呼びかけ 等

## (1) 市町村への依頼事項(その3)

### 5 避難所における新型コロナウイルス等感染症への対応について

#### **★感染力の強いBA.5系統が急拡大しています。**

##### **①可能な限り多くの避難所を開設**

通常 of 自然災害発生時よりも可能な限り多くの避難所の開設を図り、避難者の密度が高まらないよう配慮。また、利用可能なホテルや旅館等の活用等も検討。

##### **②避難者の健康状態の確認**

避難者が避難所へ到着した時に体調不良者を早期発見できるように、検温など可能な限りの健康チェックを行い、健康状態を把握。

##### **③頻繁な手洗い、咳エチケット等基本的な衛生対策の徹底**

避難者及び避難所運営スタッフの、基本的な衛生対策の徹底。

##### **④避難所内での定期的な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保**

必要に応じて、段ボール間仕切りや段ボールベッドを活用。

※ホテル・旅館等の民間施設借上げ、避難所の設置、維持及び管理に要する費用については、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用が可能。

##### **⑤在宅避難者の把握に努めること**

# BA.5は換気がポイント！換気を効果的に行いましょう

県内においても、換気不足や換気阻害による感染拡大事例が報告されています

効果的な  
換気  
の  
考  
え  
方

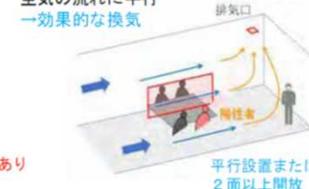
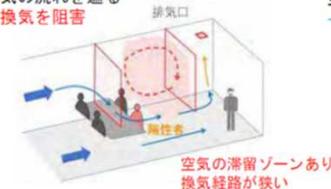
- ✓ 空気の入口(吸気口)と出口(排気口)を意識！ 空気の流れを作ることが重要です。
- ✓ 家庭用エアコンの多くは換気機能はありません。エアコン使用時も窓開け換気が重要です。
- ✓ 空気の流れを阻害しないパーティションの配置が大切です。

## 換気のポイント

- ① エアロゾル発生が多い人が多いエリアから排気、反対側から外気を吸気
- ② 空気の流れを阻害するビニールカーテンなど背の高いパーティションは、空気の流れに対して平行に設置
- ③ 背の低いパーティションで3方向を塞がない (横の人との距離を1M以上確保)
- ④ 換気扇(機械換気)による常時換気
- ⑤ 機械換気が無い場合、30分に1回、数分程度、窓開け換気(窓やドアを全開)
  - ・2方向を窓開けをすると効果的
  - ・熱中症予防のため、換気の際は、室温や湿度にも配慮
- ⑥ 更衣室など換気ができない場所では、同時に利用する人数の制限
- ⑦ CO2センサー等を活用し必要な換気ができているか確認 (概ね1,000ppm以下を維持)

### 換気を阻害しないパーティションの配置

・パーティションの配置や形状により、換気が有効に働かない場合があります。空気の流れを遮る  
→換気を阻害



※新型コロナウイルス感染症対策分科会(第17回)資料より一部引用



## (2) 県民への注意喚起等(その1)

○警戒レベル5を待たずに、レベル4までに避難を終えてください。

### 1 最新の気象情報や防災情報に注意して土砂災害や増水などに警戒してください

■最新の気象情報は、気象庁のホームページ等で確認を。

- ・警報、注意報等
- ・キキクル（危険度情報）など
- ・台風情報



■市町村は防災行政無線等、県はホームページ、トリピーメール、防災アプリ等で防災情報や公共交通機関の運行情報等を発信。

- ・避難情報・避難所開設状況
- ・交通情報
- ・道路情報
- ・ライフライン情報 など



#### ホームページ「とりネット」

注意情報などのまとめページを設置  
(トップページの「防災・救急」又は特設リンクから)

#### 「あんしんトリピーメール」

スマホや携帯電話等に気象情報や防災情報等をメールで配信

#### 「あんしんトリピーなび」

鳥取県が提供する無料の総合防災アプリ  
(プッシュ通知や最寄りの避難所情報など)



トリピーメール・なびの登録方法は上記QRコードから

■ NHKのデータ放送（生活・防災情報）やヤフー防災速報でも各種防災情報が確認可能。<sup>10</sup>

## (2) 県民への注意喚起等(その2)

**2 ハザードマップで家の周囲の災害リスクやいざという時の避難場所を確認するなど  
早めの備えを始めてください。**

- ・ハザードマップを探し、自宅が何色の場所にあるかを確認し、避難場所までの避難ルートをチェックしてください。

**3 防災情報や気象庁の「キキクル（危険度分析）」で近くの川が「紫」なら避難してください。**

- ・中小河川の近くでは素早い判断を。（水位が一気に上昇します）
- ・大きな河川では晴れてからも注意が必要です。（雨が止んでからも水位が上がります）

**4 土砂災害の前兆現象（裏山等からの濁水、湧水、異音、異臭など）にご注意ください。**

**5 避難する時は、長靴をはかずに歩きやすい服装で。できるだけ2人以上で行動してください。**

- ・冠水している場所や車での避難は危険です。

**6 外に出るのが危険な時は屋内で少しでも安全を確保してください。**

- ・2階への避難、斜面から離れた部屋への避難など。
- ・屋内での安全確保は最後の手段で絶対的な安全はありません。早めの避難をお願いします。

## (2) 県民への注意喚起等(その2)

### 6 避難における新型コロナウイルス等感染症への対応について

○避難所で感染症にかからない・うつさないため、次のことに注意してください。

#### <避難する前に・・・>

- ① 体調を確認しましょう。避難する途中で体調がすぐれなくなった場合には、避難所の受付で相談しましょう。
- ② 安全が確保できる場合は、自宅での待機や、近隣の親せきや知人宅への避難(分散避難)も選択肢の一つです。お住いの地域が危険かどうかハザードマップもしっかり確認して、自分の避難先を決めましょう。
- ③ 可能なかぎり、マスク・体温計・消毒液を持参しましょう。

#### <避難した後は・・・>

- ① 避難所で生活するときは、マスクの着用、手洗い、咳エチケットなどをしっかり行ってください。
- ② ほかの避難者と十分な距離をとるようにしましょう。(概ね2m)
- ③ 十分な換気を行うよう心がけましょう。
- ④ 発熱や咳などの症状がある場合には、すぐに避難所の担当者に報告してください。

## 4 警戒・即応体制の確保

### (1) 県の体制

- 大雨警報が発表された場合等、災害警戒・応急対応を行う体制に移行します。
- ⇒各部局、各市町村におかれては、連絡・即応体制の確保をお願いします

#### <大雨時の本県の体制>

- 注意体制 大雨注意報、洪水注意報などの発令
- 警戒体制（1） 大雨警報、洪水警報などの発令
- 警戒体制（2） 土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報の発表  
〔鳥取県災害警戒本部を設置〕
- 非常体制 大雨特別警報の発令、  
甚大な被害が発生した場合、又は発生の恐れがある場合 等  
〔鳥取県災害対策本部を設置〕

# 3 警戒・即応体制の確保

## (2) 県の対応

### 公共土木施設の対応

#### 1 令和3年被災箇所への対応

- すでに大型土嚢の設置等の必要な応急対策を実施済。
- 大雨や強風に十分備え、道路・河川・砂防関係の被災箇所等を中心に事前にパトロールを行うとともに、注意報・警報等の発表により適宜、パトロールを行う。

#### 2 河川・ダム・砂防

##### (1) 県内河川等の確実な排水機場の稼働及び適切な樋門操作

- 排水機場が確実に稼働するよう、事前点検を実施済。  
清水川排水機場は令和3年度末までに排水能力を4.0m<sup>3</sup>/s→4.6(m<sup>3</sup>/s)に増強済。
- 樋門等の適切な操作及び住民避難等に関する情報の発信・伝達、点検、体制強化を図っている。
- 河川パトロールによる水位情報の把握や排水ポンプ車の支援体制を確認済。  
※排水ポンプ車配備台数：東部地区(国3台、県2台)、中部(国4台)、西部(国1台、県1台)
- 高潮には注視のうえ、市町村と連携して、河川及び湖沼の適切な樋門操作を徹底する。

# 公共土木施設の対応

## (2) ダムの管理

- 治水ダムについては、洪水に備え、治水容量を確保済。
- なお、治水協定に基づき、県内すべての治水ダム・利水ダム双方とも、必要に応じて事前放流等を実施する。
- ダム放流の実施にあたっては、下流住民へ情報伝達を適時・的確に行う体制をとることを再確認済。
- 気象状況・ダム水位等を注視しつつ、できる限り早期に関係市町村及び下流住民に放流予告を連絡周知する。

## (3) 大呂地区地すべりの監視体制

- 監視体制を強化するとともに、土砂崩落による河川の閉塞等に備え、北股川に排水管を設置済、及び県道の迂回路を整備中。
- 斜面上部からの崩落による、中腹部分の堆積土砂の流出防止対策として、災害関連緊急地すべり防止事業により土留工整備済。

## (4) 盛土の点検を実施

- 大規模盛土造成地等の盛土(41箇所)について、6月末までに再点検を完了、異常箇所はなかった。  
※令和3年度に全国を対象として実施した盛土総点検の実施箇所

# 公共土木施設の対応

## 3 道路

### (1) 高速道路等の事前通行規制(県土整備部、国土交通省)

- 鳥取道及び山陰道については、一定の区間ごとに設定されている基準雨量を超過した場合に事前通行止めすることとしており、国土交通省と連携し、道路情報板や案内看板で迂回路(国道53号、国道9号等)へ誘導する。

### (2) 倒木等への対応

- 昨年の台風9号の際に各地で倒木による道路規制が発生したことを踏まえ、倒木が発生した際に速やかに撤去等の対応ができるよう、強風時のパトロールを強化する。

## 4 その他

### (1) 大雨・強風時のパトロール体制等

- 現在稼働している工事現場については、現場内の土砂流出や資材の固定状況などの現場点検を実施し、安全対策を徹底する。
- 線状降水帯による局地豪雨予報(6/1から気象庁運用)を踏まえて、県内全域での大雨等の発生や推移に応じたパトロールや水防活動を行う。

### (2) (一社)鳥取県建設業協会と災害時応援協定に基づく対応

- 災害発生時等には、「災害時における応急対策業務等に関する基本協定書」に基づいて対応していただくよう、(一社)鳥取県建設業協会に事前に要請済。

# 農林水産関係への対応

## 農業者、関係団体などへ今回の大雨に係る各種対策、注意喚起を実施

### 1 農業関係

○「台風に対する農業技術対策(夏期)」を踏まえて、大雨対策を徹底するよう各市町村、農協、農林局等を通じて生産者へ周知。(8/16)

- [連絡内容] ①農作物の管理について(排水対策等)  
②降雨後のほ場の排水対策、病害防除等について  
③警報等発令中の水路見回りに関する注意喚起

[主な農作物の技術対策(状況)]

白ねぎ	排水対策や降雨前後の防除を徹底してください！(夏ネギは約6割出荷終了)
ブロッコリー	排水対策や降雨前後の防除を徹底してください！(秋冬作苗を定植中(約3割))
梨	排水対策や降雨後の防除を徹底してください！ (出荷開始:なつひめ8月17日、新甘泉、二十世紀8月下旬)
ブドウ	降雨後の排水対策やハウスの換気を徹底してください！ (ピオーネ・巨峰は約5割終了、シャインマスカットは8月下旬から出荷開始予定)

### 2 農地・ため池関係

○台風期における防災態勢の強化について、各市町村、農林局へ依頼。(8/16)

○ため池については、少雨の影響もあり低水位の状況。

※昨年7月豪雨で被災したため池は、災害復旧工事を実施中。

※防災重点ため池の緊急連絡体制は各市町において整備済。

### 3 林業関係

○各森林組合等の林業事業体に対して、土砂災害等の注意喚起など各組合員への安全対策・安全管理の徹底を依頼。(8/16)

### 4 水産関係

○各漁業協同組合等の水産関係団体向けに漁業関係者の安全確保等の防災措置について依頼(8/16)

# 電気事業(ダム)の管理体制

## ダムの管理

[茗荷谷ダム] (若桜町) ※ダム運用は、PFI事業者が実施中

- ・千代川水系の治水協定に基づき、1日の降雨量が236mmを超えると予測されるきは事前放流を実施する。
- ・ゲートから放流するときは、事前にサイレンを吹鳴し、警報車でダム下流の河川巡視を行う。
- ・PFI事業者がいつでも現場に行ける体制を取っている。

ダム水位 4.63m (16日 11時)

(放流ゲート下端 6.5m、常時満水位 10m)

貯水率 36%

基準降雨量 236mm/24時間

[中津ダム] (三朝町)

- ・発電所のリニューアル工事につき、現在放流ゲートを全開にして自由放流中

ダム水位 11.6m

(放流ゲート下端 11.5m、常時満水位 16m)

貯水率 53%

# 今夏は日本海側で大雨が続いています

○8月の上旬から、日本海側には太平洋高気圧の縁を回る暖かく湿った空気が流入し続けており、特に北日本～北陸地方では、前線の停滞や線状降水帯の発生により、災害が発生するような大雨となっています。

【今夏の線状降水帯の発生例(主に日本海側の例)】

7月18日 長崎県、山口県

7月19日 福岡県、佐賀県、大分県

8月3日 青森県、秋田県、山形県、新潟県

8月4日 福井県

○本県でも、8月の観測記録を更新するような短時間強雨が発生しています。

【例(アメダス速報値)】

8月6日 関金で1時間雨量45mm(8月の観測記録を更新)

8月7日 関金で1時間雨量48.5mm(8月の観測記録をさらに更新)

○今後発表される気象情報等に十分注意してください。